

## 米国防省の発表について

このことについて、本日（6月13日）、外務省から神奈川県を通じて、次のとおり説明がありましたので、お知らせします。

市では、今後、詳細な情報提供を国及び米軍に求めてまいります。

国防省職員及び日本国民を生物剤による脅威から防護するために策定された国防省の訓練及び技能試験プログラムの一環として、2005年に、不活性と思われる炭疽菌のサンプルがキャンプ座間に送付されていた。

同サンプルは、ユタ州に所在する米陸軍施設であるダグウェイ試験場（Dugway Proving Ground）から送付された。現在行われている国防省による調査の結果、同試験場から米国内外の施設に送付されたサンプルのいくつかは、低レベルの生きた炭疽菌を含んでいたことが断定された。キャンプ座間に送付されたサンプルに生きた炭疽菌が含まれていたか否かは、同サンプルが2009年に廃棄されていることから、断定することはできない。

2015年6月に行われたキャンプ座間研究所の在庫検査により、技能試験用のサンプルは残っていないことが確認された。2005年のサンプルは、廃棄されるまでの間厳格な管理下で輸送及び保管されていたため、同サンプルに関する感染事例はなく、また、研究所の職員や日本国民に対する健康上のリスクも存在しない。

以上